

主催：出雲市、出雲市同和教育・啓発推進会議  
 後援：出雲地域人権啓発活動ネットワーク協議会

**受講生募集！**

# 人権・同和教育基礎講座

同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向けて、人権・同和教育基礎講座を9月から4回シリーズで開催します。皆さまの受講をお待ちしています！

手話通訳あり

**第1回** 9月8日(土) 9:30～11:30  
 演題：「母娘で問うた部落差別  
 — 差別はいま —」

同和問題について「結婚差別なんて昔の話」、「もう差別なんてない」と言う人もいます。しかし、平成28年12月に施行された「部落差別の解消の推進に関する法律」では、「現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じている」と述べられています。講演では、現在の結婚差別と人権課題について、差別は無くなったのか？という現状をお話しいたします。



講師  
 さかた  
**坂田かおりさん**

**第2回** 10月13日(土) 9:30～11:30  
 演題：「ハンセン病を  
 知っていますか？」

ハンセン病について聞いたことはありませんか？日本ではハンセン病患者・回復者への隔離政策が1996年まで続き、深刻な人権侵害を及ぼすことになりました。本講座では、ハンセン病とは何か、日本のハンセン病の歴史、さらに入所者の今についてわかりやすくお話しいただきます。私たち自身の問題として一緒に考えてみませんか？



講師  
 きん  
**金貴粉さん**

国立ハンセン病資料館  
 主任学芸員

**第3回** 11月3日(土) 9:30～11:30  
 演題：「多文化共生の  
 地域づくりのために」

国際交流の進展、在住外国人の増加に伴い、他国の人や文化に触れる機会が増えてきています。市では、平成28年に策定した「出雲市多文化共生推進プラン」に基づき、在住外国人と共に生きる「多文化共生」地域社会づくりを推進しています。講演では、多文化共生の地域づくりのために、日本の多文化進行の現状と課題、特に次世代の外国につながる子どもたちのために、学校や地域にできることという視点を入れてお話しいただきます。



講師  
 えのい  
**榎井 縁さん**

大阪大学  
 特任准教授

**第4回** 12月15日(土) 9:30～11:30  
 演題：「子どもの人権を知って、子どもとともに  
 ～訪問アドボカシーから考える～」

アドボカシーとは、おとなが子どもの声を聴き、それが子どもの生活に関わる決定に影響を与えるように支援することです。講師ご自身の障がい児施設での訪問アドボカシー活動についてお話しいただきながら、子どもの権利条約をもとに、子どもの人権について学びます。虐待など子どもを取りまく問題を人権の視点で考え、一人ひとりに何ができるか考えてみませんか？



講師  
 おくむら  
**奥村 仁美さん**

(公社)子ども情報  
 研究センター理事

**会場：出雲市役所 くにびき大ホール**

応募方法：電話、FAX、Eメールのいずれかで、お名前、ご連絡先(住所、電話番号)について、下記申し込み先までお知らせください。  
 ※要約筆記などご希望のある方は申し込み時にお申し出ください。

応募締切  
**8/31(金)**

問い合わせ 出雲市役所 人権同和政策課 担当：山崎、西尾  
 申し込み先 TEL22-7506 FAX22-7502 Eメール jinken@city.izumo.shimane.jp

※FAXの場合は下記に記入して、切り取らずそのまま送信してください。(コピー可)

氏名	住所	電話番号
配慮が必要なこと		